

映像Live版 USBビデオキャプチャーユニット
デジ造 PCA-DAV4
 Digital Creation Gear Digizo

活用ガイド

CyberLink PowerDirector 10 DE版 編

本書では、本製品付属の動画編集ソフト『CyberLink PowerDirector 10 DE版』を使用した、映像のキャプチャーなどソフトの簡単な使い方を紹介します。

本書をお読みいただく前に

本書をお読みいただく前に、必ず「設定ガイド」に従ってドライバのインストールおよびソフトウェアのインストールを行ってください。

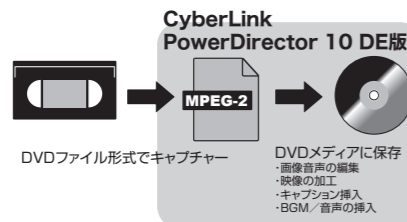
CyberLink PowerDirector 10 DE版に関するお問合せ

本製品に付属しております「CyberLink PowerDirector DE版」に関するお問い合わせは下記URLよりメンバー登録後行ってください。詳細は【設定ガイド】の【PowerDirector 10 DE版に関するサポート/情報について】をご覧ください。

メンバー登録URL
<https://membership.cyberlink.com/prog/member/sign-up.do>

CyberLink PowerDirector 10 DE版

『CyberLink PowerDirector 10 DE版』は、デジ造本体を経由して再生されたVHS/8mmビデオなどをパソコンにキャプチャーすることができます。キャプチャーした映像は編集などをしてDVDに保存することができます。

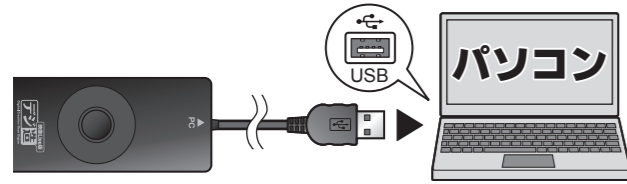


PowerDirectorで使用されている主な用語について

- 「プロジェクトの縦横比」・・・アスペクト比(16:9/4:3)
- 「キャプチャー」・・・映像を動画や画像ファイルとしてパソコンに保存すること
- 「トランジション」・・・場面転換時の「手法」や「効果」のこと
- 「エフェクト」・・・映像に加える「効果」のこと
- 「ストーリーボード」・・・場面が切り替わる部分毎にサムネイルを並べたもの。
- 「タイムライン」・・・時系列で表示したものを。

映像のキャプチャー（録画）

パソコンの起動後、本製品のUSBコネクタをパソコンのUSBポートに接続します。

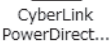


映像機器を本製品に接続して、映像機器を再生できる状態にします。



『CyberLink PowerDirector 10 DE版』を起動します。

デスクトップのアイコンをダブルクリックするか、スタートメニューから【CyberLink PowerDirector】を起動します。



『CyberLink PowerDirector 10 DE版』が起動したら、[フル機能エディター]をクリックします。

1 クリック 『CyberLink PowerDirector 10 DE版』が起動したら、[キャプチャー]→[テレビ信号からキャプチャー]の順にクリックします。



キャプチャー画面が表示されたら、下記の箇所の設定を確認します。

キャプチャーする映像の保存先を選択します。

映像のキャプチャーはデータサイズが大きくなります。保存先のハードディスクの空き容量には十分ご注意ください。キャプチャーデータの保存先は、ソフトウェアがインストールされているドライブとは物理的に異なる、内蔵ハードディスクに指定されることをお勧めいたします。

キャプチャーする映像のファイル形式を設定します。DVDを作成する場合は、[MPEG-2ビデオ]を選択してください。

[キャプチャーデバイス] →『USB 2828x Device』

ご利用のパソコンに、キャプチャーボードなどが搭載されている場合は、複数の入力デバイスが表示されます。

[キャプチャー元] →映像機器が接続されている映像端子

ビデオ端子から入力する場合は、[Video SVideo]を選択します。

[音声デバイス] →『ライン (USB 28286 Device)』

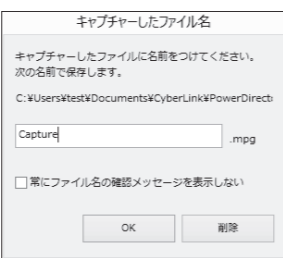
キャプチャーを開始する

映像機器の再生を開始します。



キャプチャーする場面で、[録画]ボタンをクリックすると映像のキャプチャーを開始します。

キャプチャーする停止するときは、再度 [録画] ボタンをクリックします。



キャプチャーした映像にファイル名をつけて、[OK] をクリックすると、映像が保存されます。



キャプチャーした映像のサムネイルが、キャプチャー済みコンテンツ画面に追加されます。

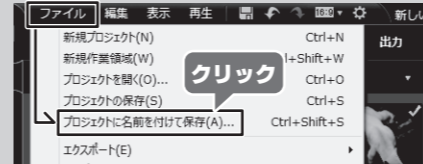
サムネイルにカーソルを合わせると、ファイルの情報が表示されます。

ソフトウェア環境設定



画面上部の[環境設定]をクリックすると、本ソフトウェアの動作設定を行うことができます。

プロジェクトの保存



画面上部の[ファイル]メニューから[プロジェクトに名前を付けて保存]をクリックしてプロジェクトを保存することができます。

キャプチャーした映像を編集する



キャプチャーが完了したら、次はキャプチャーした映像を編集します。

[編集]タブをクリックすると、編集画面が表示されます。キャプチャーした映像のサムネイルが表示され、タイムライントラック上に自動的にキャプチャーした映像が挿入されます。

キャプチャーした映像を順番に並べる

タイムライントラックに、キャプチャーした映像をドラッグ&ドロップして並べます。配置した映像は、再生時間を変更したり分割したりすることが可能です。キャプチャーした映像以外にも、パソコンに保存されているデータを追加したり、テキストやエフェクトなどを挿入することも可能です。



トラックには、2種類の画面があります。[ストーリーボード] [タイムライン] をクリックしてトラック画面を切替えます。

タイムライン画面



映像や音楽、トランジションやエフェクトなど、秒単位の細かい調整を行う画面です。



映像のトリミング

映像と映像の境界にカーソルを移動して、カーソルが「⇄」に変わった状態でドラッグすることで、映像をトリミングすることができます。

映像の分割

分割したい箇所に水色のカーソルを移動して、[分割] をクリックすると、映像を分割することができます。

プロジェクトの縦横比（アスペクト比）

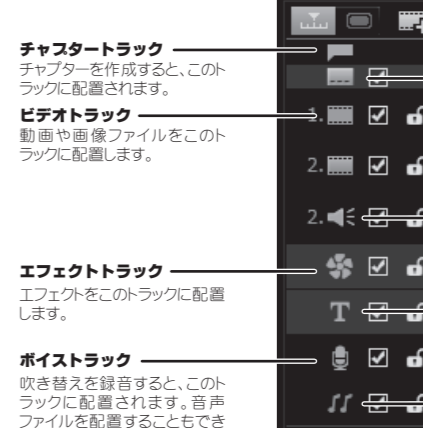


画面上部の[プロジェクトの縦横比]をクリックすると、プロジェクトのアスペクト比を変更できます。

プロジェクトのアスペクト設定について

プロジェクトのアスペクト比を4:3に設定した場合、16:9のキャプチャー映像をストーリーボードに入れると、映像の上下に黒帯が入った映像になります。プロジェクトのアスペクト比を16:9に設定した場合、4:3のキャプチャー映像をストーリーボードに入れると、映像の左右に黒帯が入った映像になります。

タイムライントラック



字幕トラック
 字幕を作成すると、このトラックに配置されます。

オーディオトラック
 音声ファイルをこのトラックに配置します。映像ファイルに含まれる音声はこのトラックに表示されます。

タイトルトラック
 タイトルを作成すると、このトラックに配置されます。

ミュージックビートトラック
 ミュージック ビート検出機能を使用時は、ミュージック ビートトラックが有効になります。

ストーリーボード画面



この画面を表示するには、[ストーリーボード] タブをクリックします。

映像を紙芝居の様に並べることで、簡単にストーリーを作成することができます。

パソコンに保存されている音声や静止画を挿入する

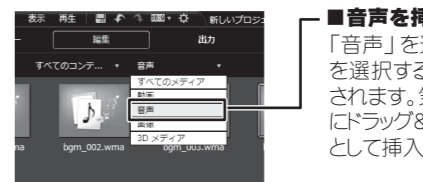


左図の部分をクリックすると、パソコンに保存されている画像や、音声などのメディアファイルを挿入することができます。



背景画像を挿入する場合

「背景」を選択すると、背景として使用できる画像が表示されます。タイムライン上にドラッグ&ドロップすると、背景画として挿入することができます。



音声を挿入する場合

「音声」を選択して、パソコン内の音声ファイルを選択すると、音声ファイルのアイコンが表示されます。気に入ったファイルをタイムライン上にドラッグ&ドロップすると、BGMや音声ファイルとして挿入することができます。

キャプチャーした映像を編集する（続き）

映像に効果を加えたり音声や文字を挿入する（ルームについて）



ルームを使用することで「映像に飾りを加える」「場面転換などの様々な効果（トランジション）加える」「字幕やナレーションなどを追加する」など、映像を装飾することができます。

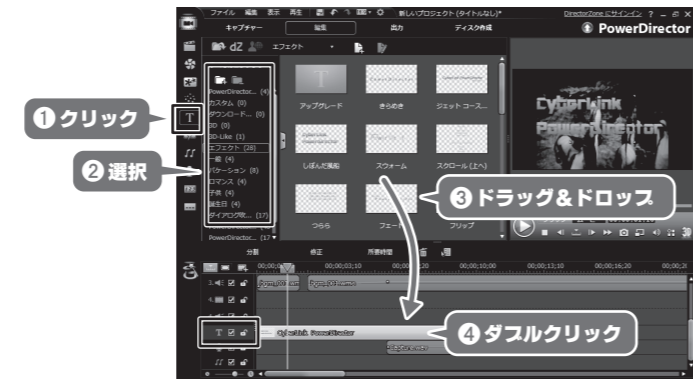
- ① **メディアルーム**
動画、音声、画像ファイル、プロジェクトに追加するカラーボードおよび背景を挿入する際に使用します。
- ② **エフェクトルーム**
動画や画像にエフェクトを挿入する際に使用します。
- ③ **PiPオブジェクトルーム**
動画や画像にフレームやハートマークなどPiPオブジェクトを挿入する際に使用します。
- ④ **パーティクルルーム**
動画や画像に粒子や煙などを挿入する際に使用します。
- ⑤ **タイトルルーム**
動画や画像にタイトルや吹き出しなどを挿入する際に使用します。
- ⑥ **トランジションルーム**
映像と映像の場面転換時の効果を設定する際に使用します。
- ⑦ **音声ミキシングルーム**
オーディオトラックの調整に使用します。
- ⑧ **吹き替え録音ルーム**
動画を再生しながら吹き替えを録音することができます。
- ⑨ **チャプタールーム**
プロジェクトにチャプターマーカーを設定する際に使用します。
- ⑩ **字幕ルーム**
字幕を挿入する際に使用します。

例）場面転換の効果を設定する（トランジション）

「トランジションルーム」を選択し、あらかじめ収録されているコンテンツから、トランジションを選択して、映像と映像のつなぎ目にドラッグ&ドロップします。設定されたトランジションは、動作方法を設定することができます。

例）タイトルを設定する

「タイトルルーム」を選択し、あらかじめ収録される書式から選択して、タイトルトラックにドラッグ&ドロップします。



タイムラインに挿入したタイトルをダブルクリックすると、デザイン画面が表示されます。

この画面では、文字の変更の他に、文字のスタイルや位置などを変更できます。

DVDディスクを作成する

メニュー画面を作成する



最初に、メニュー画面を作成します。ディスクコンテンツ画面には書き出した映像のサムネイルが配置されています。

テンプレートを使用したり、オリジナルのメニュー画面を作成することができます。

映像を追加する

他の映像を追加する場合、左図のボタンをクリックして、追加する映像を選択します。



ディスクコンテンツ画面に、映像が追加されます。上から順にディスクに書き込まれます。



メニュー画面を編集する
この画面では、テンプレートを選択してメニューのデザインを変更したり、[メニュー作成]からオリジナルのメニューを作成することも可能です。

再生モード/BGMを設定する



メニュー画面のBGMを設定します。

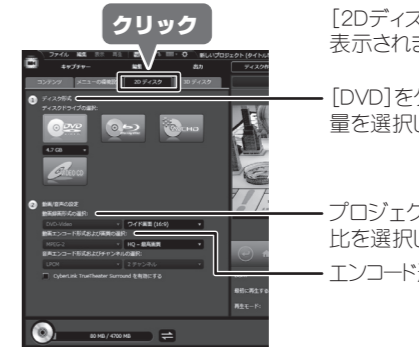
[再生モード]では、ディスクを再生する際の動作を設定します。

プレビュー



[プレビュー]をクリックして、実際の画面を確認します。

ディスク形式/動画形式/音声形式を設定する



[2Dディスク]をクリックすると、設定画面が表示されます。

[DVD]をクリックして、ディスクに合わせて容量を選択します。

プロジェクトの縦横比に合わせてアスペクト比を選択します。

エンコード形式を選択します。

ディスクを作成する



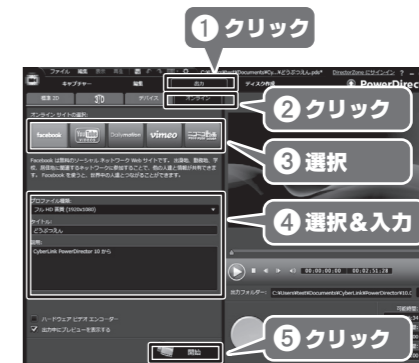
記録可能なディスクをドライブに挿入して、[2Dで書き込み]をクリックすると、ディスクの作成を開始します。



編集した映像をFacebookやYouTube用の動画に書き出す

編集した映像を、FacebookやYouTube用の動画に書き出して、アップロードすることができます。

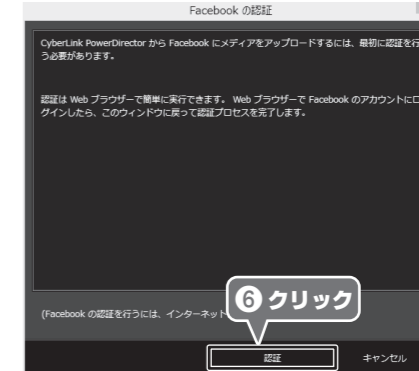
あらかじめアップロード先のアカウントを取得している必要があります。取得済みのアカウントで認証を行わないと、動画を書き出すことはできませんのでご注意ください。本機能を使用するには、インターネットに接続している必要があります。



編集が完了したら、[出力] → [オンライン]の順にクリックして、アップロード先のサービスを選択します。

選択したサービスに応じて、④の入力内容が変わります。必要に応じて、出力形式の設定や必要事項を入力してください。

[開始]をクリックします。



認証画面が表示されます。画面の指示に従って、各サービスのアカウントでログインして認証を行ってください。

映像を書き出す

DVDディスク作成用の動画ファイルを書き出す



編集が完了した映像を、DVDの保存に最適なファイル形式の動画ファイルに書き出すことができます。

[出力] → [標準2D]の順にクリックして、ファイル形式の選択から [MPEG-2] を選択します。

[開始]をクリックすると、出力が始まります。

様々なデバイスやオンライン用のファイルを書き出す



映像機器や携帯端末、ゲーム機など、あらかじめいくつかの端末用に書き出し設定が用意されており、簡単な操作で各端末に応じた映像ファイルを書き出すことができます。

書き出した映像を、オンラインの映像サービスにアップロードすることができます。